

# いさわ ⑦胆沢ダム[石淵ダムの役割を引き継ぐ国内最大級のロックフィルダム]

おうしゅうし  
所在地：奥州市（岩手県）



- ◆石淵ダムは、昭和21年に着手し、昭和28年に竣工して以来60年にわたり地域の安全・安心の役割を担ってきました。胆沢ダムは、石淵ダムの治水や利水の機能を引き継ぐ国内最大級のロックフィルダムとして、昭和63年に着手し、平成25年に竣工しました。
- ◆県内有数の米どころ胆沢平野にかんがい用水を供給します。
- ◆ダム外観の見学ができます。
- ◆見学可能時期：1月～12月

## ◆主要なダム見学コース(総所要時間60分程度)

石淵ダム堰堤資料室  
[胆沢ダム管理庁舎1階] (15分)

▶胆沢ダムの概要パネル及び石淵ダムに関する資料の展示を行っています。



5分

ダム外観 (20分)

▶ダム堤体天端から胆沢ダムを見学出来ます。



10分

奥州湖眺望台 (10分)

▶日本一の胆沢扇状地やダム貯水池が展望出来ます。

※石淵ダム堰堤資料室、ダム外観、奥州湖眺望台は自由見学できます。



▲石淵ダム堰堤資料室でダムの概要を見学



▲奥州湖眺望台から胆沢ダムを一望

## ◆アクセスマップ



- ▶所在地；岩手県奥州市胆沢区若柳字横岳前山6
- ▶東北自動車道  
水沢ICから車で約40分

## ダム周辺の見どころ

- ▶**焼石岳（やけいしだけ）**  
→焼石岳を主峰として、横岳・経塚・天竺・六沢山等をつなぐ栗駒国定公園焼石団地として、新緑の初夏まで豊富な残雪、ブナの原生林の南限・北限の植物群落、多くの池・沼が点在します。
- ▶**散居集落（さんきょしゅうらく）**  
→たんぼや畑の中に、住居が散在して建っている集落のことです。富山県の砺波平野、島根県の出雲平野、そして胆沢平野が、『日本三大散居集落』と言われています。胆沢平野の散居集落では、風よけのため『居久根（いぐね）』と呼ばれる屋敷林で家が囲まれています。また、『きづま』と呼ばれる全国的にも珍しい独特の垣根が、屋敷の周囲を囲んでいます。この、きづまは、焚き付け用の薪などを、積み上げて作っており、北国の生活の知恵とも言えます。（国道397号胆沢区沿い）
- ▶**胆沢平野・水陸萬頃（すいりくばんけい）**  
→古代日本史を伝える最も古い歴史書のひとつ「続日本紀」の延暦8年（789年）の条には、胆沢平野を「水陸萬頃（水と土地が豊かなところ）」と記しています。しかし、実は利用しにくい地形となっており、先人達が水との壮絶な闘いを繰り返してきた歴史があります。（右岸展望台より）
- ▶**徳水園（とくすいえん）**  
→胆沢平野の重要な農業用水路である茂井羅堰（しげいらぜき）と寿安堰（じゅあんぜき）は、同じ胆沢川から取水しています。この二つの水路の取水口が2キロメートルに満たない距離で隣りあっているため、受益農民はこの400年間、血を流すほどの水争いを繰り返してきました。解決策として昭和32年に造られたのが円筒分水（えんとうぶんすい）です。この完成を記念して両用水路開削の先覚者（茂井羅・寿安）を顕彰する公園が整備され、「徳水園」と命名されました。

- ▶ 申込先、問い合わせ先：北上川ダム統合管理事務所胆沢ダム管理支所【TEL】0197-49-2981  
【住所】奥州市胆沢区若柳字横岳前山6  
【ホームページ】<http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/index.html>
- ▶ ダムカード：胆沢ダム管理支所8:30～17:00  
(土日祝日は正面玄関の脇にあるインターホンを押して下さい)